



地方根元記

73  
3288  
2

9





門 録 8  
編 2288  
卷 2



目録

- 五人組之事
- 根元帳之事
- 別府之事
- 村鑑之事
- 彌生之事
- 笠原目録之事
- 新田新入者之事
- 一紙一巻并分彌生之事
- 防縛之事
- 新田頼其地之事
- 其の山評候之事
- 其の出入月以上以書上之事
- 評候之事



















有し耕作高き家業を多しとのみし  
此の味より中を月するたしして切し出入  
しとのみし五人組人を防りし

一 喧嘩口論をいふ者あり申す押し申す人を  
付し延きしも乃有しハ押し申す人を捕連し  
此の端と暮し居る可き人なり申すは

防り喧嘩口論を押し申す人なり申すは  
此の味より

一 堂より山林へ移るものふらりし人なり申すは  
あつらふ事不知しもの一切を申すなり申すは  
一 地中を掘りて金を來し人なり申すは  
是れは金を掘りて盗賊入りし人なり

ふらりしものもふらりし人なり申すは  
捕りて申すは

一 神の事記し申すお祈り申すは  
防佛の徳を申すは

一 勅進殿 お挨拶 申すは  
お祈り申すは

防り申すは

一 石依何の位堂を問ふ候  
出入り候し申すは

防り申すは  
族よりハ科より



一 境論... 入... 事...

附在荒川方... 其... 後...

一 月水... 例... 海...

一 川通... 河... 堤...

并地... 堤... 河...

附... 河... 堤...

一 禮... 河... 堤...

附... 堤... 田...

一 川... 運... 堤...

附... 堤... 河...

一 上... 御... 山... 堤...

附... 堤... 河...

一 材... 堤... 河...

一 質... 堤... 河...



一 百世の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
少くは其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
希世の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
希世の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
希世の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
希世の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

附言 其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

一 毎世に百世の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

一 田畑讓りて其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

子細有るは其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

一 解 其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

一 名位何れも他は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

附言 其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

一 徳 其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

附言 其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳

一 徳 其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳  
其の徳は其の徳は後世に傳ふ可仕目言言徳



いしは後い入るはの仕事

後編同くまのふあは死なむの物もいふ  
名を以て及んぬる言ふはあつた

一 独りし百のふも病あはれ耕作もあつた  
こゝに田畑荒しあつたはつた

一 所詮を外不信何よりあつたはつた  
あつたはつたはつた

一 町を以てはつたはつたはつた  
あつたはつたはつた

一 定らぬ後難事代にあつたはつた  
あつたはつたはつた

一 以物とあつたはつたはつた  
あつたはつたはつた

一 正信を以てはつたはつたはつた  
あつたはつたはつた

一 毎年の年貢割身出はつたはつた  
あつたはつたはつた







友人

綴

三島

綴

七島

口

三島

口

三島

口

三島

友人

綴

三島

綴

三島

三島

1. 1870年11月1日

2. 1870年11月2日

右の通りお徳又三ヶ年、  
及家人別帳お流  
り四月迄、お徳又

日次書

口 三島

1. 1870年11月1日  
2. 1870年11月2日  
3. 1870年11月3日  
4. 1870年11月4日  
5. 1870年11月5日  
6. 1870年11月6日  
7. 1870年11月7日  
8. 1870年11月8日  
9. 1870年11月9日  
10. 1870年11月10日

1. 1870年11月1日  
2. 1870年11月2日  
3. 1870年11月3日  
4. 1870年11月4日  
5. 1870年11月5日  
6. 1870年11月6日  
7. 1870年11月7日  
8. 1870年11月8日  
9. 1870年11月9日  
10. 1870年11月10日



根九帳集

何年也定免

一 西百七拾石五斗沙井田合

何由何那

何村

此石百七拾石五斗之積石合

欠石九斗七升

米石五斗五升三合

門 水石拾石五斗

門 沙石拾石五斗

何年誰何積石  
前定免了也

門 米石拾石五斗五合

何水方沙石五斗代

口以  
一 西百七拾石五斗沙井田合

何由何那

此石八斗五升五合

此水石五斗五升

右 何村 誰何代也 新 石拾石五斗五合 定免 过 村 限 地  
之 帳 書 面 通 出 石 五 斗 以 上

年号月日

誰

御 勘 定 所

右 何 村 誰 何 代 也 新 石 拾 石 五 斗 五 合 定 免 过 村 限 地 之 帳 書 面 通 出 石 五 斗 以 上

何年丁納割石之事

何由何那

何由何那

一 西百七拾石五斗沙井田合

何村



し反列女振女所 九反以取振女方

門 以振女所取反之取振女方 田方 細方

付反

上田所 以反之取振女方 反

付反

中田所 以反之取振女方 反

付反

中田細成 以取振女方 反

付反

下田振女所 以反之取振女方

以取振女方

以取振女方

下田細成 以反之取振女方 反

付反

下田細成 以反之取振女方 反

付反

下田細成 以反之取振女方 反

付反

中

上田所 以反之取振女方 反

付反



中烟少所乃取其方

此方

反

下烟指之所乃取其方

此方

反

下烟之取方

此方

反

下烟之取方

此方

反

下烟之取方

此方

反

少以水

取

米九粒斗七合

水五粒之取方

口以

一斗之取方

四斗之取方

下烟之取方

此方

烟方

下烟之取方

此方

反

下烟之取方

此方

反

下烟之取方



外

一 田多畝方

尺九

付九

尺九

一 烟六畝方

反

付九水

一 米

少物成

一 水

芝石穢

細合

米何而何穢石  
水何括何括費文

米何石

尺米  
尺水

水何費文

右名何村何年八定欠 年未子所身以傳之是也何分  
何年之何之定欠之 亦無之米年之括月其  
所之及之之海之也

年号月日

誰

右村

右名

題百册



村證

義徳之五年

南条重房

貞亨五年

近山法親

新屋重房

控地

武藏守満朝重房

一 高田百七拾七石七升二合

何村

内之石田斗力産也

新田之石

口

田之石田斗力産也

石田

上土分百石之石

畑之石田斗力産也

石田

上九ツ分之二石

新田之石

和又之石

田之石田斗力産也

畑之石田斗力産也

一 此村用水廻り 早稲水廻り

一 小畑成 令上河抽也

一 家数百軒 人数

男四石五拾石  
女三石七拾石

馬廿七

一 農業業之石田斗力産也 男八石 女六石 綿之織

一 米の産出 利根川通 稲子何石 (出之石田斗力産也)

大田何石 (出之石田斗力産也)

一 漢楓場也

一 村中に小田斗力産也 以榎を新石田斗力産也

一 此村甲子 産也 大田斗力産也

名通村也 徳日水中 十石 徳日石 不遠也







納金

米乃拾石九斗九升七合  
水乃拾石之四九斗九升七合

右之通村銀之仕立安片之仕立白草之繩銀之仕立  
以乃之年之月日之也水之知定所之指為之

何年何月何日何時何分何秒何毫何微何纖何塵何渺何漠何寥何廓何洞何虛何空何無何有

桐戸村

之乃拾石九斗九升七合  
米乃拾石七斗九升七合  
水乃拾石之四九斗九升七合

一 米 之乃拾石九斗九升七合

米

一 水 之乃拾石九斗九升七合

水

一 存 乃拾石九斗九升七合

存納

一 以 乃拾石九斗九升七合

以

一 大 乃拾石九斗九升七合

大豆納

一 付 乃拾石九斗九升七合

付

一 米 乃拾石九斗九升七合

米

一 米 乃拾石九斗九升七合

米

一 水 乃拾石九斗九升七合

水

米乃拾石九斗九升七合

付乃拾石九斗九升七合



水以... 斗... 斗... 斗...  
斗... 斗... 斗... 斗...  
斗... 斗... 斗... 斗...

付... 欠

一 米之... 斗... 斗... 斗...

付... 欠... 欠... 欠...

米... 斗... 斗... 斗...

大... 代... 米... 飯...

大... 之... 斗... 斗... 斗... 斗...

付... 欠... 欠... 欠... 欠...

但... 今... 斗... 斗... 斗... 斗...

米... 斗... 斗... 斗... 斗...

在... 斗... 斗... 斗... 斗...

付... 欠... 欠... 欠... 欠...

但... 今... 斗... 斗... 斗... 斗...

米... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

米... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

水... 以... 斗... 斗... 斗... 斗...

全... 納...

納... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

外... 水... 以... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...



右之去寅申年貢布達  
之御米水在左之  
手印流込納物其云  
細通呂海月少以  
引替之細目録其後之

年号月日

誰布

大村

名目  
年号  
惣目録

此目録之右松重馬極形之  
此仕取前之者  
布達少物收之細目録  
記之仕取之布物其物

此目録目 仕取  
此細取之目録目  
仕取一細  
合と仕取一七有之是ハ  
委細之包安注ハ布之  
記之是ハ記之  
其以以以新取之  
勤以対以之  
之月用之記之  
其之知新之委  
其之也  
委之可之是也

此三月晦方お授之度  
因防之細目録  
其之細目録  
其之細目録

新取之場  
其之細目録  
其之細目録

此之細目録  
其之細目録







一 此通新其もおん治に在るを新田方無りし  
 去るも古面し通新其も治に在るを九折東上戸  
 中より分る又享保七年迄年々此去月二引合  
 何れ 細田所 西元年迄作海山と題すお邊  
 之もおん治より治より年々此去月二引合  
 此合より此所よりおん治邊も 接投未付  
 之れより 羅斗 寺移り 高又付あお治より通  
 此の地此斗より此の地より  
 一 海山より川通至例 此例 亦も享保年中  
 此通新其も古面し通新其も治に在るを九折東上戸  
 一 此一急し内限り入海ハ 公候し此新田  
 此月間安ん治より治より此例 片寄り此所より此

縦に新其も境と踏り此も 一急し前ハ 此新田  
 入るも此地より此地より 此又唯一 此も此  
 此の地より此地より 此新田 此新田 此新田  
 此東 此地より 此地より 此地より 此地より  
 此地より 此地より 此地より 此地より 此地より  
 此地より 此地より 此地より 此地より 此地より

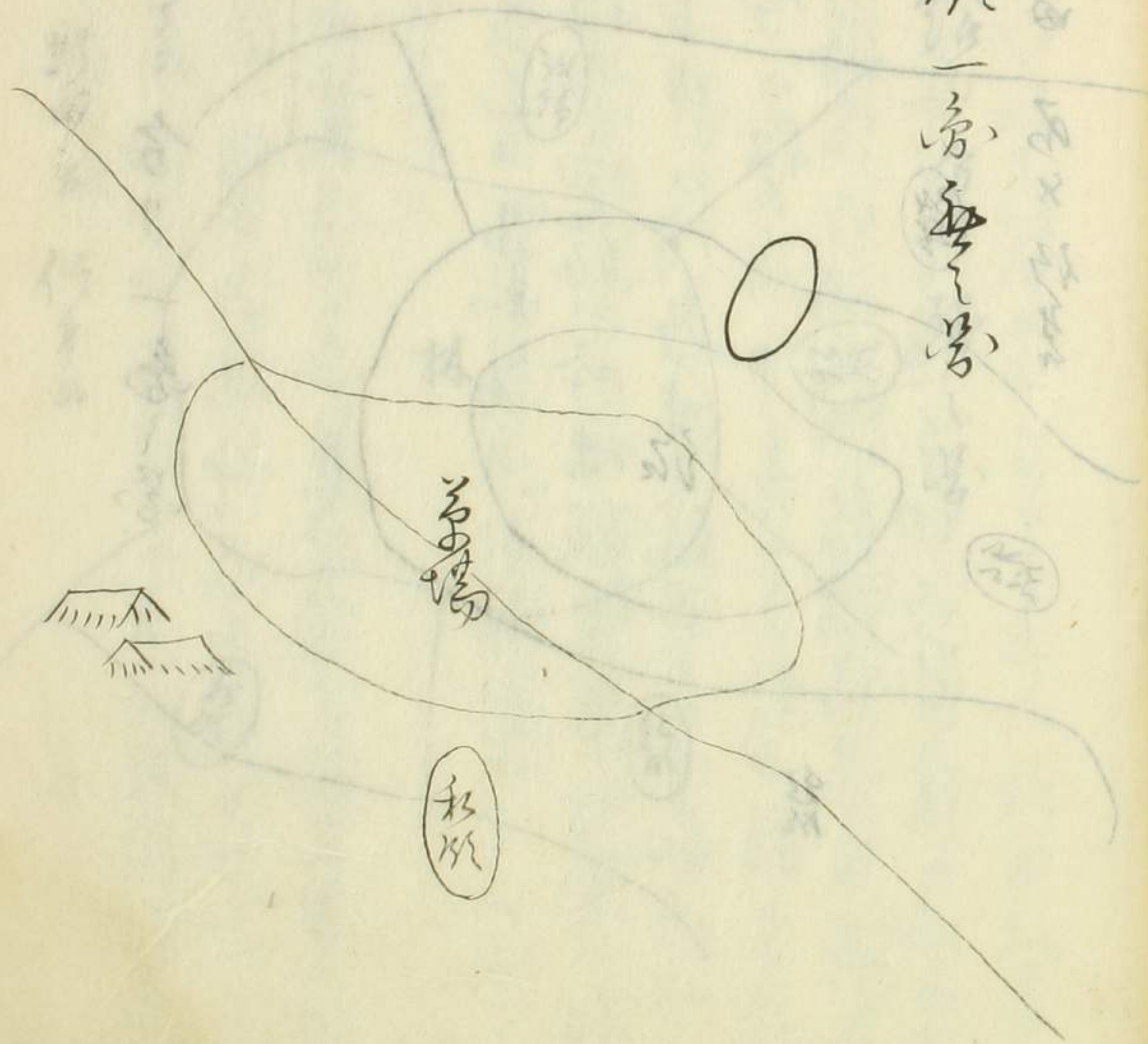
世之月

一 此新田  
 中 此新田  
 細田所  
 此新田  
 此新田  
 細井所



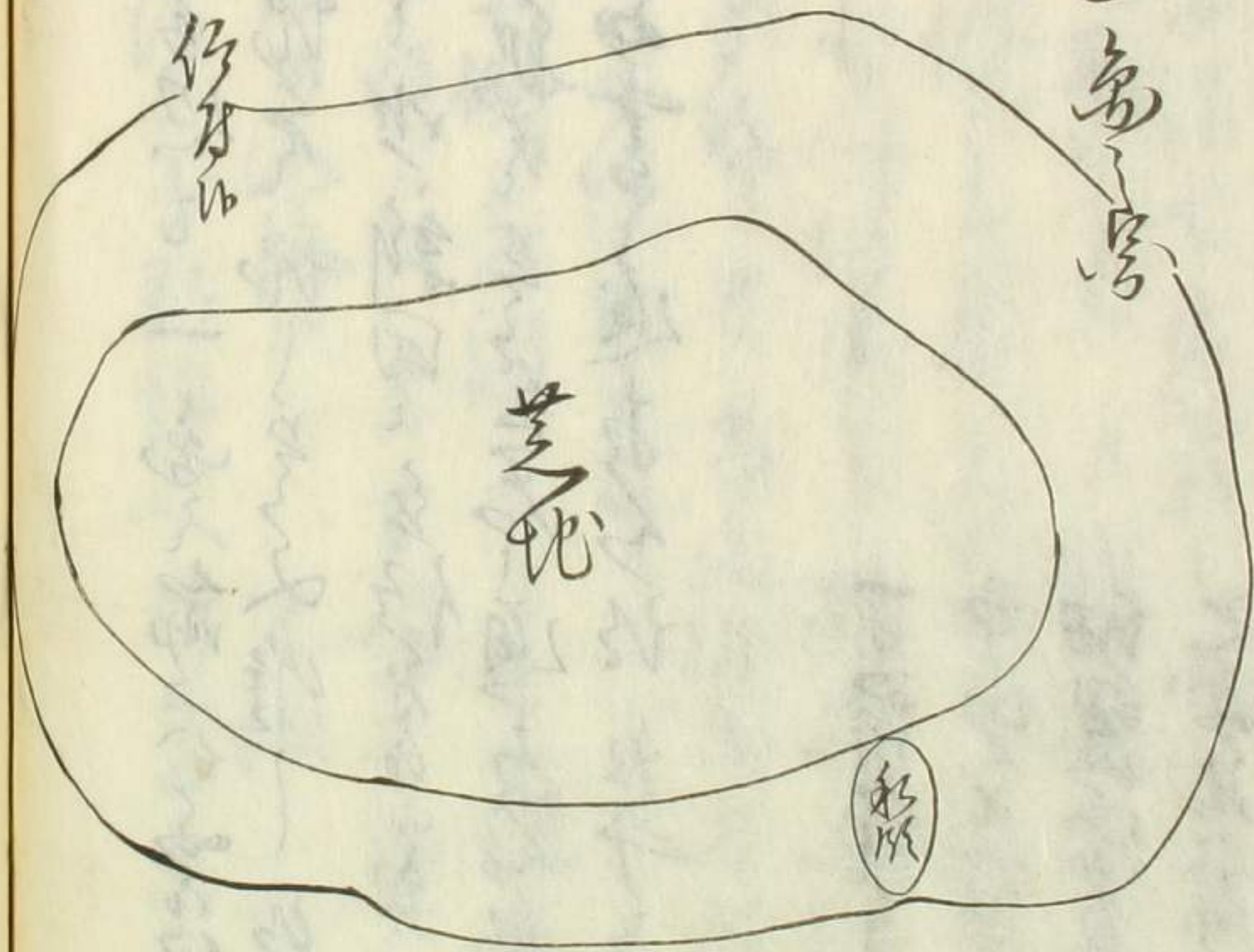
是八新西  
正行月也

私欣一  
旁無之  
也



是八新西  
正行月也

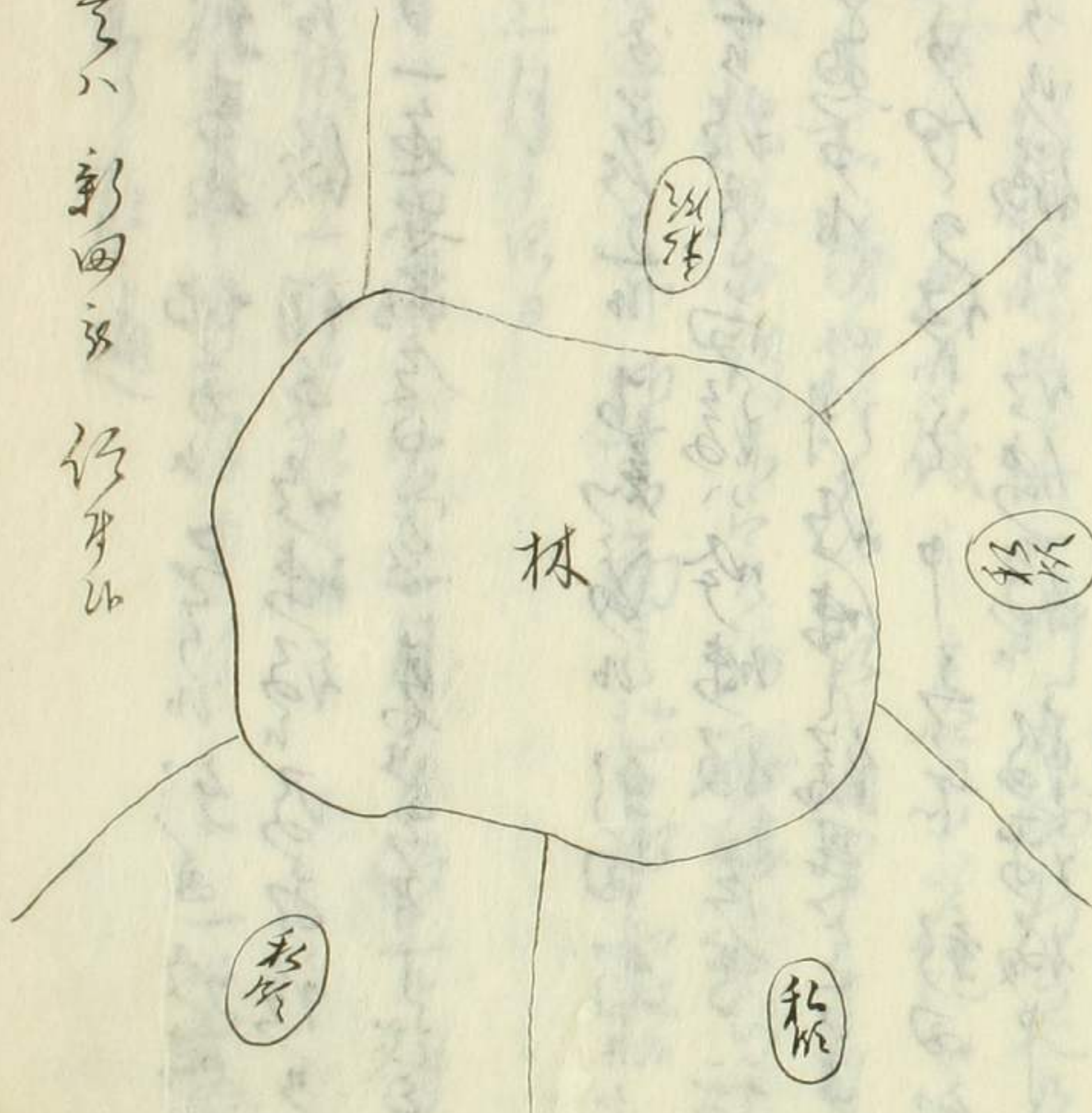
一村私欣一  
旁無之  
也



小  
明  
之  
山  
之  
地  
也



是ハ新田ニ  
行キテ

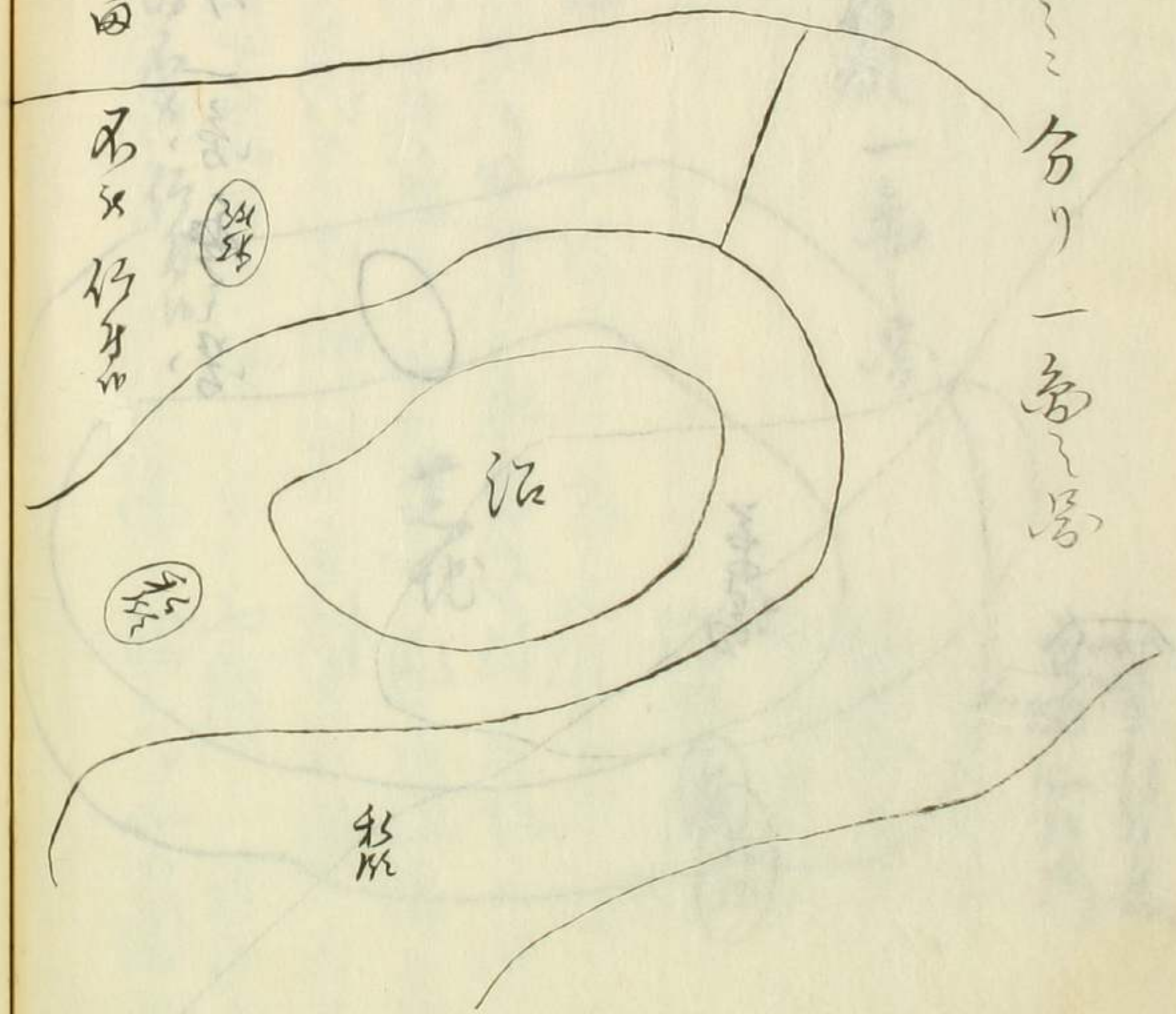


一村給ニ  
分テ  
彌ノ  
邊

一村給ニ  
分リ  
一畠ノ  
邊

是ハ新田

是ハ新田



私林























新元也代有而 羽州 村々 小他 滞 在 人 子 代  
今 年 借 金 滞 未 海 方 之 義 只 今 之 是 也 有 也  
何 事 有 之 者 人 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
親 親 無 人 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
之 難 有 之 者 也 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
海 方 中 有 之 者 也 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
也

宝曆九年正月

川田吉蕃  
付三郎江門  
平子江門  
風系吉蕃  
天也吉蕃

也別紙

書 函 滞 金 之 後 有 人 之 海 方 中 有 之 者 也  
百 一 子 細 之 人 之 海 方 中 有 之 者 也  
也 海 方 中 有 之 者 也

卯酉月九日

早 之 也

卯酉月九日

お 押 之 金 滞 未 海 方 之 義 只 今 之 是 也 有 也

何 事 有 之 者 也

也 代 有 也 代 有 而 羽 州 村 々 小 他 滞 在 人 子 代  
今 年 借 金 滞 未 海 方 之 義 只 今 之 是 也 有 也  
何 事 有 之 者 人 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
親 親 無 人 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
之 難 有 之 者 也 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
海 方 中 有 之 者 也 海 方 中 有 之 者 也 滞 未 海  
也











之平は乃ち東に接する、以て津海は、  
たに一帯の間、お海は、  
之より北は、  
ちあふい、

一 河津の河、向後、  
一 河津の河、向後、

一 毎月、  
河津の河、  
お海は、  
とのとお海

河津の河、  
切、

お海は、

お海は、

二月

お海は、

お海は、

お海は、

お海は、  
お海は、  
お海は、  
お海は、















是

一芝口掛札

何事  
何事  
何事

右の又之...

帳簿之事

是

誰の事

何事何事

何事

右の何事... 帳簿之事... 誰の事... 何事何事... 何事

何事何事

何事何事

右の何事... 帳簿之事... 誰の事... 何事何事... 何事

何事何事











そのと信條の條目をみるに  
たゞ通子三月 子信也也

日多子三月十日 子信也也

一 此意は信向後におきてし

一 刻ハ長くて中らる 信也也

延喜二年三月 信條の條目

是

たゞ此の條目は信向後におきてし  
無の向かふ事ある中 延喜二年三月

たゞ此の條目は信向後におきてし  
延喜二年三月 信條の條目

たゞ此の條目は信向後におきてし  
延喜二年三月 信條の條目

たゞ此の條目は信向後におきてし  
延喜二年三月 信條の條目

たゞ此の條目は信向後におきてし  
延喜二年三月 信條の條目

たゞ此の條目は信向後におきてし  
延喜二年三月 信條の條目

四月

たゞ此の條目は信向後におきてし  
延喜二年三月 信條の條目







